

平成 31 年度 国語科 第 1 学年 学習指導・評価計画

- 1 国語科の学習指導のねらいおよび目標
 - ・国語を正確に理解する力を育て、適切に表現して伝え合う力を高める。
 - ・言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め、国語を尊重する態度を育てる。
- 2 国語の学習で大切なこと
 - ・授業での学習を大切にすること。文章をよく読むこと。先生や友達の発言をよく聞くこと。
 - ・必ず、自分の感想や考えを持つようにし、それを言葉にすること。
- 3 思考力・判断力・表現力を高めるには
 - ・正確に読み取る力、聞き取る力を身に付け、それらをもとに、自分の考えを整理する。
 - ・どのような表現をすれば、相手に伝わるだろうということを考えながら、書いたり話したりする。
- 4 家庭学習の進め方
 - ・国語の能力は、授業だけでなく、日頃の生活のなかでも養われる。そのため、日頃から読書をしたり、新聞を読んだり、友人や家族と会話をする中で、使える言葉の数を増やす。また、漢字の学習は、毎日少しずつ進める。定期テスト前には、授業中の学習課題（論理の展開、筆者の意図、場面や登場人物の設定等）を復習する。
- 5 評価について
 - 【関心・意欲・態度】・授業中の取り組み（発言・課題への取り組み）・提出物の状況・定期考査
 - 【話す聞く】・スピーチや話し合い活動の技能・聞き取りの技能・小テスト・定期考査
 - 【書く】・学習ノート・作文課題・小テスト・定期考査
 - 【読む】・学習ノート・読解課題・小テスト・定期考査
 - 【言語】・学習ノート・小テスト・定期考査・書写作品

【評価の観点およびその趣旨】

観 点	趣 旨
関心・意欲・態度	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語に対する認識を深め、国語を尊重しようとする。
話すこと・聞くこと	目的や場面に応じ、社会生活に関わることなどについて相手や場に応じて話す能力、課題の解決に向けて話し合う能力を身につけている。話したり聞いたりして考えを深めている。
書くこと	目的や意図に応じ、社会生活に関わることなどについて、論理の展開を工夫してかく能力を身につけている。文章を書いて考えを深めている。
読むこと	目的や意図に応じ、文章の展開や表現の仕方などを評価しながら読む能力を身に付けさせるとともに、読書を通じて自己を向上させようとする。
言語についての知識・理解・技能	伝統的な言語文化に親しんだり、言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、使ったりするとともに文字を正しく整えて書いている。

◇年間指導（学習）・評価計画

学期	月	単元	学習内容	観点	評価規準または規準	評価方法 評価材料
一 学 期	4	新 し い 世 界 へ	朝のリレー【読(詩)】(4) ●詩に表れているものの見方や考え方を捉える。	関心 読む	【読】表現に着目しながら読み、詩に表れているものの見方や考え方を捉えている。	授業中の取り組み 学習課題に対する自分の考えの発表やノートへの記述
			オオカミの友だち【読(物語)】(3) ●登場人物の気持ちの変化を捉える。	関心 読む	【読】場面の展開や人物描写と登場人物の心情変化との関連を理解して読んでいる。	
			スピーチ【話聞】(4) ●聞き方・話し方を学び、技能を身に付ける。	関心 話す 聞く	【話聞】話す速度や音量、ことばの調子や間の取り方、身振りなどを自覚しながら、意図的に活用して話している。	

二学期	5	わかりやすく伝える	読み方を学ぼう①【説明文の基本構造】 ペンギンの防寒着(1) クジラの飲み水【読(説明)】(3) ●段落と段落の関係に着目して読む。 ●筆者の表現の工夫を捉えて読む。	関心 読む 言語	【読】段落と段落の関係に着目しながら、文章の展開の意義や効果を評価しながら、内容を読み取っている。読み手にわかりやすく伝えるための、筆者の表現の工夫の意義や効果を評価している。	提出物 プリントやワークシート 漢字学習 小テストの結果 漢字テスト 単元テスト 文法の知識 言語知識 授業中の課題・発表など スピーチや話し合い活動の技能 聞き取りの技能 作文やレポートなどの技能 定期テスト 漢字、敬語、文法などの言語知識 説明的な文章や文学的な文章。 古典教材の読み取り問題。	
			文法のまど1 ことばの単位・文節の関係(2)	関心 言語	【言】ことばの単位・文節の関係について理解している。		
			レポート【書】(6) ●調べたことを整理して、わかりやすく書く	関心 書く	【書】調べて集めた情報を分析・整理して、まとめや順序を考えて文章を構成している。		
		6	かわかりをとらえる	漢字のしくみ1【漢】(2) 活字と手書き文字の違いや、漢字の画数・筆順を身につける。	関心 言語		【言】活字と手書き文字・画数・筆順についての理解を深めている。漢字の読み書きについて理解を深めている。
				読み方を学ぼう②【人物相関図】 空中ブランコ乗りのキキ【読(物語)】(6) ●登場人物の言動から考えを深める。	関心 読む		【読】場面の展開や登場人物の描かれ方に注意して読んでいる。登場人物の判断や行動について、自分の考えをもっている。
				ことば発見1 音声のしくみとはたらき【言】(1)	関心 言語		【言】音声のしくみとはたらきについての理解を深めている。
	7	かわかりをとらえる	チームの力を引き出す質問【話聞】(4) ●質問を効果的に使う。	関心 話す 聞く	【話聞】質問を効果的に使い、自分の考えと同じ点や違う点を確認したり、整理したりしている。		
			字のない葉書【読書(随筆)】(2) 読書活動「読書郵便」を楽しもう ●本や文章から情報を集めるための方法を身につけて、目的に応じて必要な情報を読み取る。	関心 読む 言語	【読】本や文章から情報を集めるための方法を身につけて、目的に応じて必要な情報を読み取っている。		
			漢字を身につけよう2【漢】(1)	関心 言語	【言】新しく学習する漢字の読み書きについて理解を深めている。		
	9	情報を読み解く	食感のオノマトペ【読(説明)】(5) 読み方を学ぼう③【図表と文章】 ●図表と文章との関係に注意しながら、事実とそれに基づく筆者の考えを読み分ける。	関心 読む 言語	【読】図表と文章との関係に注意しながら、事実とそれに基づく筆者の考えを読み分けている。オノマトペの意味や効果について、自分の考えをもっている。		
			ことば発見2 話しことばと書きことば(1)【言】 ●話しことばと書きことばに関して理解を深める。	関心 言語	【言】話しことばと書きことばについての理解を深めている。		
			目的や相手に応じて情報を編集する(6) ●目的と相手を明確にして集めた情報を分類・整理して、わかりやすく構成する。	関心 書く	【書】文章を読み返し、表記や表現の仕方などを確かめて、相手にとって必要な情報が正しくわかりやすく伝わるものになっている。		

		漢字のしくみ2 部首と成り立ち【漢】(2) ●部首と成り立ちについての理解を深める。 漢字を身につけよう3【漢】	関心 言語	【言】部首と成り立ちについての理解を深めている。新しく学習する漢字の読み書きについて理解を深めている。
10	古典に学ぶ	月を思う心【伝(解説)】(1)	関心 読む 言語	【読】現代とのつながりを考えて読み、物語のおもしろさについて、自分の意見をもっている。 【言】古文の仮名遣いやリズムに注意して音読している。
		竹取物語【伝(古文)】(5) 古典情報 古典の仮名遣い ●古文の仮名遣いやリズムに注意して音読し、古典の世界にふれる。		
		故事成語——矛盾【伝(漢文)】(4) 古典情報 漢文の読み方 ●訓読の仕方にふれ、漢文調のリズムに注意して音読する。	関心 読む 言語	【読】現代とのつながりを考えて読み、物語の面白さについて、自分の意見をもっている。 【言】古文の仮名遣いやリズムに注意して音読し、古典の世界にふれている。
		漢字を身につけよう4【漢】(1)	関心 言語	【言】新しく学習する漢字の読み書きを確実に身につけている。
		読み方を学ぼう④【三角ロジック】 玄関扉【読(説明)】(5) ●文章に示された事実と筆者の意見と理由を読み分けて、要旨を捉える。	関心 読む 言語	【読】文章に示された事実と筆者の意見と理由を読み分けて、要旨を捉えている。玄関扉の例を中心に、文化の違いについて、自分の考えをもっている。
		ことば発見3 接続する語句・指示する語句【言】(1) ●接続する語句・指示する語句についての理解を深める。	関心 言語	【言】接続する語句・指示する語句についての理解を深めている。
11	論理的に考える	討論ゲーム【話聞】(4) ●説得力をもつように、話の構成や討論の展開を工夫して話す。	関心 話す 聞く	【話聞】説得力をもつように、話の構成や討論の展開を工夫して話している。わかりやすく印象に残る語句を選んだり、声の調子や身振りなどに変化をつけたりして、相手に与える効果を考えて話している。
		表現プラザ① 変わり身の上話【書】(2) ●なり変わったものの特徴の捉え方や発想の面白さ、表現の工夫などについて交流する。	関心 書く 言語	【書】なり変わったものの特徴の捉え方や発想の面白さ、表現の工夫などについて交流している。
		漢字を身につけよう5【漢】(1)	関心 言語	【言】新しく学習する漢字の読み書きを確実に身につけている。
	読みを深め合う	見えないだけ【読(詩)】(2) ●詩の中のことばの意味を的確に捉え読む。	関心 読む 言語	【読】詩の中のことばの意味を的確に捉えて、内容を理解している。詩の表現の特徴と効果について自分の意見をもっている。
		ことば発見4 比喩・倒置・反復・対句【言】(2) ●さまざまな表現を学ぶ。	関心 言語	【言】比喩・倒置・反復・対句について理解を深めている。
12	読みを深め合う	読み方を学ぼう⑤【語り手】 少年の日の思い出【読(小説)】(6) ●場面展開や人物描写に着目して、登場人物の心情の変化を捉える。	関心 読む 言語	【読む】場面展開や人物描写に着目して、登場人物の心情の変化を捉えている。作品の構成の工夫を読み取り、その効果について自分の考えをもっている。
		文法のまど2 単語の類別・品詞【言】(2) ●単語の類別・品詞について理解する。	関心 言語	【言】単語の類別・品詞について理解している。

		鑑賞文【書】(6) ●想像を広げたり、いろいろな視点で分析したりして、自分の受け止め方や考えを明確にして書く。	関心 書く 言語	【書】想像を広げたり、いろいろな視点で分析したりして、自分の受け止め方や考えを明確にして書いている。書いた文章を読み合い、作品の捉え方や根拠の明確さ、表現の仕方などについて意見を交流している。		
		漢字を身につけよう6【漢】(1)	関心 言語	【言】新しく学習する漢字の読み書きを確実に身につけている。		
三 学 期	1	この小さな地球の上で【読(随想)】(5) ●文章に出てくる語句の意味について、文脈にそって的確に捉える。	関心 読む 言語	【読】文章に出てくる語句の意味について、文脈にそって的確に捉えている。地球や人間に対する筆者の考え方を読み取り、自分のものの見方や考え方を広げている。		
		意見文【書】(5) ●日常生活の中から課題を決め、問いと対話によって、自分の考えをまとめる。	関心 読む 言語	【書】日常生活の中から課題を決め、問いと対話によって、自分の考えをまとめている。事実や体験から導き出した自分の考えを、根拠を明確にして書いている。		
	2	視野を広げる 表現プラザ② 即興劇にチャレンジ【話聞】(2) ●声の調子や言葉づかいなど表現を工夫する。	関心 話す 聞く	【話聞】声の調子や語句の選択、言葉づかいなど、役に応じた表現を工夫している。		
		漢字のしくみ3 漢字の音と訓【漢】(1) ●漢字の音と訓についての理解を深める。		【言】漢字の音と訓などの読み方について理解を深めている。		
		漢字を身につけよう7【漢】(1)	関心 言語	【言】新しく学習する漢字の読み書きを確実に身につけている。		
	3	つながり を考 える 読み方を学ぼう⑥【情景描写】 トロッコ【読(小説)】(6) ●情景や行動の描写に表現されている、主人公の心情の変化を読む。	関心 読む 言語	【読】情景や行動の描写に表現されている、主人公の心情の変化を読み取っている。文脈の中のことばの意味を的確に捉え、表現の工夫や特徴について考えをもっている。		
		漢字を身につけよう8【漢】(1)	関心 言語	【言】新しく学習する漢字の読み書きを確実に身につけている。		
		グループ新聞【話す聞く】【書】(7) ●取材して集めた情報を、編集会議によって検討したり整理したりする。	書く 言語 話す 聞く	【話聞】取材して集めた情報を、編集会議によって検討したり整理したりしている。 【書】文章を読み、表記や表現の仕方などを確かめて、正しく読みやすいものになっている。		
			漢字を身につけよう9【漢】(1)	関心 言語	【言】新しく学習する漢字の読み書きを確実に身につけている。	
	<p>上記の学習内容に加え、書写の学習が20時間程度あります。また副教材の活用、状況に応じた教材の追加、差し替える場合があります。</p> <p>※漢字については、平成31年度 学習指導要領移行措置に伴う「都道府県名に用いる漢字の読みと書き」を追加して指導します。</p>					

1 国語科の学習指導のねらいおよび目標

- ・国語を正確に理解する力を育て、適切に表現して伝え合う力を高める。
- ・言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め、国語を尊重する態度を育てる。

2 国語の学習で大切なこと

- ・授業での学習を大切に、文章をよく読むこと。また、先生や友達の発言をよく聞くこと。
- ・必ず、自分の感想や考えを持つようにし、それを言葉にしてみよう。

3 思考力・判断力・表現力を高めるには

- ・正確に読み取る力、聞き取る力を高めよう。それらをもとに、自分の考えを整理しよう。
- ・どのような表現をすれば、相手に伝わるだろうということを考えながら、書いたり話したりする。

4 家庭学習の進め方

・国語の能力は、授業だけでなく、日頃の生活のなかでも養われます。日頃から読書をしたり、新聞を読んだり、友人や家族と会話をする中で、使える言葉の数をふやしましょう。また、漢字の学習は、毎日少しずつ進めてほしいです。定期テスト前には、授業中の学習課題（論理の展開、筆者の意図、場面や登場人物の設定等）を復習しましょう。また、プリントや課題プリントをやり直したり、取り組んだりしましょう。

5 評価について

(1) 評価資料について

【国語への関心・意欲・態度】 各種提出物・定期考査・持ち物点検・授業への取り組み態度等

【話す・聞く能力】 各種スピーチ・聞き取り表・定期考査・討論発言・話し合い活動等

【書く能力】 各種作品（創作文・主張文・手紙文）等

【読む能力】 定期考査・文学的文章の鑑賞文等

【言語についての知識・理解・技能】 定期考査・小テスト・暗唱・言語プリント・書写作品（毛筆・硬筆）等

(2) 評価の観点およびその趣旨

観 点	趣 旨
関心・意欲・態度	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語に対する認識を深め、国語を尊重しようとする。
話すこと・聞くこと	目的や場面に応じ、社会生活に関わることなどについて相手や場に応じて話す能力、課題の解決に向けて話し合う能力を身につけている。話したり聞いたりして考えを深めている。
書くこと	目的や意図に応じ、社会生活に関わることなどについて、論理の展開を工夫してかく能力を身につけている。文章を書いて考えを深めている。
読むこと	目的や意図に応じ、文章の展開や表現の仕方などを評価しながら読む能力を身に付けさせるとともに、読書を通じて自己を向上させようとする。
言語についての知識・理解・技能	伝統的な言語文化に親しんだり、言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、使ったりするとともに文字を正しく整えて書いている。

◇年間指導（学習）・評価計画

学期	月	領域 単元	学習内容	評価の 観点	評価規準または規準	評価の方法 評価資料
1 学期	4	学びの扉を開く	名づけられた葉 【読(詩)】 読み方を学ぼう①【詩の構成】気持ちを揺さぶる仕掛け ●リズムを感じ取りながら繰り返し音読して、詩に込められた思いを捉える。	関心 読む 言語	読 リズムを感じ取りながら繰り返し音読して、詩に込められた思いを捉えている。 言 多義的な意味を表す語句などについて理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。	5 (1)に記載
			小さな手袋 【読(小説)】 読み方を学ぼう②【象徴】そこには何かが詰まっている ●登場人物の会話や行動から、心情の変化を読み取る。	関心 読む 言語	読① 登場人物の会話や行動から、心情の変化を読み取っている。 言 多義的な意味を表す語句などについて理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。	
			ことば発見1 類義語・対義語、多義語【言】 ●類義語・対義語、多義語についての理解を深める。	関心 言語	言 類義語・対義語、多義語についての理解を深めている。	
			漢字を身につけよう1【漢】 ●漢字の読み書きについての理解を深める。	関心 言語	言 新しく学習する漢字の読み書きについて理解を深めている。	
	5	情報を読み解く	人間は他の星に住むことができるのか 【読(説明)】 読み方を学ぼう③【段落の大小】まとまりを探せ！ ●文章の構成について、根拠を明確にして自分の考えをまとめる。	関心 読む 言語	読 文章の構成について、根拠を明確にして自分の考えをまとめている。 言 抽象的な概念を表す語句などについて理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。	
			資料や機器を効果的に活用する プレゼンテーション【話聞】 ●話し手の意図や話の内容をわかりやすく伝えるために、資料や機器を効果的に活用して話す。	関心 話す 聞く	話聞① 話し手の意図や話の内容をわかりやすく伝えるために、資料や機器を効果的に活用して話している。 話聞② 異なる立場や考えを想定して自分の考えをまとめ、構成を工夫して説得力のある発表をしている。	
			漢字のしくみ1 熟語の構成・熟字訓【漢】 ●熟語の構成・熟字訓についての理解を深める。	関心 言語	言 熟語の構成・熟字訓についての理解を深めている。	
			漢字を身につけよう2【漢】 ●漢字の読み書きについての理解を深める。	関心 言語	言 新しく学習する漢字の読み書きについて理解を深めている。	
	6	ことばを磨く	短歌の世界／短歌十首【読(短歌)】 ●短歌のリズムや表現方法などの特徴を理解して、作品の内容を捉える。 ●情景や心情を表す語句に注意して、短歌の世界を読み味わう。	関心 読む 言語	読① 短歌のリズムや表現方法などの特徴を理解して、作品の内容を捉えている。 読② 情景や心情を表す語句に注意して、短歌の世界を読み味わっている。 言 多義的な意味を表す語句などについて理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。	
			読みたいくなるしくみを工夫する 創作文【書】 ●作品の魅力や特徴が効果的に伝わるように、描写や展開などを工夫して書く。	関心 書く 言語	書 作品の魅力や特徴が効果的に伝わるように、描写や展開などを工夫して書いている。 言 相手や目的に応じて、文章の形態や展開に違いがあることを理解している。	
			文法のまど1 用言の活用【言】 ●用言の活用についての理解を深める。	関心 言語	言 用言の活用についての理解を深めている。	
			漢字を身につけよう3【漢】 ●漢字の読み書きについての理解を深める	関心 言語	言 新しく学習する漢字の読み書きについて理解を深めている。	
7		見えないチカラとキセキ【読書(講演録)】 読書活動 本の帯・ポップづくり ●選んだ本から適切な情報を得て、自分の考えをまとめる。	関心 読む 言語	読 選んだ本から適切な情報を得て、自分の考えをまとめている。 言 相手や目的に応じて、文章の形態や展開に違いがあることを理解している。		

2 学期	9	視野を広げる	壁に残された伝言【読(報告)】 ●発見された事実について内容を読み取り、取材した筆者の思いを捉える。 ●「伝言」という表現に着目して、筆者のものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつ。	関心 読む 言語	読① 発見された事実について内容を読み取り、取材した筆者の思いを捉えている。 読② 「伝言」という表現に着目して、筆者のものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもっている。
			漢字のしくみ2 熟語の読み【漢】 ●熟語の読みについての理解を深める。	関心 言語	言 熟語の読みについての理解を深めている。
			推論と対話で考えを広げる 主張文【書】 ●自分の立場や考えとともに、それを支える事	関心 書く 言語	書① 自分の立場や考えとともに、それを支える事実や事柄を明らかにして、文章の

		<p>実や事柄を明らかにして、文章の構成を工夫する。</p> <p>●書いた文章を読み合い、互いの主張や表現の仕方について意見を交流して、自分の考えを広げる。</p>		<p>構成を工夫している。</p> <p>書② 書いた文章を読み合い、互いの主張や表現の仕方について意見を交流して、自分の考えを広げている。</p>
		<p>漢字を身につけよう4【漢】</p> <p>●漢字の読み書きについての理解を深める。</p>	<p>関心 言語</p>	<p>言 新しく学習する漢字の読み書きについて理解を深めている。</p>
10	古典に学ぶ	<p>枕草子・徒然草【伝(古文)】</p> <p>●自然や人間に対する、筆者のものの見方や感じ方を捉える。</p> <p>●古人の心情を現代の自分たちとの対比の中で読み取る。</p>	<p>関心 読む 言語</p>	<p>読① 自然や人間に対する、筆者のものの見方や感じ方を捉えている。</p> <p>読② 古人の心情を現代の自分たちとの対比の中で読み取っている。</p> <p>言 文章に表れたものの見方や考え方に触れ、筆者の思いを想像している。</p>
		<p>表現プラザ①「超訳」に挑戦【書】</p> <p>●書きぶりや形式を工夫して、イメージや特徴が効果的に伝わるようにして書く。</p>	<p>関心 書く 言語</p>	<p>書 書きぶりや形式を工夫して、イメージや特徴が効果的に伝わるようにして書いている。</p> <p>言 目的に応じて文章の形態や展開に違いがあることを理解している。</p>
		<p>平家物語【伝(古文)】</p> <p>読み方を学ぼう④【物語の転換点】予想外の曲がり角</p> <p>●仮名遣いや語句の意味に注意しながら朗読し、古典のリズムを味わう。</p> <p>●場面や状況を捉え、登場人物の考え方について、自分の考えをもつ。</p>	<p>関心 読む 言語</p>	<p>読① 仮名遣いや語句の意味に注意しながら朗読し、古典のリズムを味わっている。</p> <p>読② 場面や状況を捉え、登場人物の考え方について、自分の考えをもっている。</p> <p>言 物語に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物の思いを想像している。</p>
		<p>漢詩の世界【伝(漢文)】</p> <p>古典情報 漢詩の形式</p> <p>●漢詩独特の言葉づかいや調子を捉えて、漢詩の世界を読み味わう。</p> <p>●漢詩に描かれた情景を想像し、古人の心情を捉える。</p>	<p>関心 読む 言語</p>	<p>読① 漢詩独特の言葉づかいや調子を捉えて、漢詩の世界を読み味わっている。</p> <p>読② 漢詩に描かれた情景を想像し、古人の心情を捉えている。</p> <p>言 作品の特徴を生かして朗読し、古典の世界を楽しんでいる。</p>
		<p>漢字を身につけよう5【漢】</p> <p>●漢字の読み書きについての理解を深める</p>	<p>関心 言語</p>	<p>言 新しく学習する漢字の読み書きについて理解を深めている。</p>
11	分析的に考える	<p>動物園でできること【読(評論)】</p> <p>読み方を学ぼう⑤【例示】「なるほど！」と言わせたい</p> <p>●文章の全体と部分の関係や、例示の効果などに注意して、筆者の主張を読み取る。</p> <p>●筆者の動物園に対する考え方について、知識や体験と関連づけて自分の考えをもつ。</p>	<p>関心 読む 言語</p>	<p>読① 文章の全体と部分の関係や、例示の効果などに注意して、筆者の主張を読み取っている。</p> <p>読② 筆者の動物園に対する考え方について、知識や体験と関連づけて自分の考えをもっている。</p>
		<p>ことば発見2 方言と共通語【言】</p> <p>●方言と共通語についての理解を深める。</p>	<p>関心 言語</p>	<p>言 方言と共通語についての理解を深めている。</p>
		<p>異なる立場や考えを尊重して パネルディスカッション【話聞】</p> <p>●決めた話題について、取材や調査などで情報を集めて整理する。</p> <p>●話の構成に注意して、要点を捉えたり自分の考えと比べたりしながら聞く。</p> <p>●異なる立場や考えを尊重し、互いの発言を検討しながら話し合い、自分の考えを広げる。</p>	<p>関心 話す 聞く 言語</p>	<p>話聞① 決めた話題について、取材や調査などで情報を集めて整理している。</p> <p>話聞② 話の構成に注意して、要点を捉えたり自分の考えと比べたりしながら聞いている。</p> <p>話聞③ 異なる立場や考えを尊重し、互いの発言を検討しながら話し合い、自分の考えを広げている。</p>
		<p>文法のまど2 助詞・助動詞【言】</p> <p>●助詞・助動詞について理解する。</p> <p>●文の成分の順序や照応、文の種類について理解する。</p>	<p>関心 言語</p>	<p>言① 助詞・助動詞について理解している。</p> <p>言② 文の成分の順序や照応、文の種類について理解している。</p>
		<p>漢字を身につけよう6【漢】</p> <p>●漢字の読み書きについての理解を深める。</p>	<p>関心 言語</p>	<p>言 新しく学習する漢字の読み書きについて理解を深めている。</p>
12	読みを深め合う	<p>大阿蘇【読(詩)】</p> <p>●詩の表現技法とその効果を理解し、詩に描かれた情景を読み取る。</p>	<p>関心 読む 言語</p>	<p>読① 詩の表現技法とその効果について、具体的な表現に基づいて考えながら、詩に描かれた情景を読み取っている。</p>
		<p>ことば発見3 敬語の意味と種類【言】</p> <p>●敬語の意味と種類についての理解を深める。</p>	<p>関心 言語</p>	<p>言 敬語の意味と種類についての理解を深めている。</p>
		<p>走れメロス【読(小説)】</p> <p>読み方を学ぼう⑥【視点人物】世界が違って見えてくる</p> <p>●場面ごとのできごとを手がかりとして、作品の構成の特徴について考えをまとめる。</p> <p>●登場人物の言動の意味を捉え、それぞれの人物の考え方について読み深める。</p>	<p>関心 読む 言語</p>	<p>読① 場面ごとのできごとを手がかりとして、作品の構成の特徴について考えをまとめている。</p> <p>読② 登場人物の言動の意味を捉え、それぞれの人物の考え方について読み深めている。</p>
		<p>漢字を身につけよう7【漢】</p> <p>●漢字の読み書きについての理解を深める。</p>	<p>関心 言語</p>	<p>言 新しく学習する漢字の読み書きについて理解を深めている。</p>

3 学期	1	想 い を 伝 え る	<p>達人のことば 宮大工 西岡常一・彫刻家 外尾悦郎【読(談話)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●二つの文章を読み比べ、共通点と相違点を考えながら、内容を読み取る。 ●達人たちのことばに表れたものの見方を捉え、仕事や生き方について意見をもつ。 	関心 読む 言語	<p>読① 二つの文章を読み比べ、共通点と相違点を考えながら、内容を読み取っている。</p> <p>読② 達人たちのことばに表れたものの見方を捉え、仕事や生き方について意見をもっている。</p>
			<p>わかりやすく、心をこめて書く 手紙【書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自分の立場と伝えたい事柄や気持ちを明確にして、手紙の形式を踏まえながら構成を工夫して書く。 ●相手や目的に応じて、事柄が正しくわかりやすく、気持ちが十分に伝わる書き方になるように推敲する。 	関心 書く 言語	<p>書① 自分の立場と伝えたい事柄や気持ちを明確にして、手紙の形式を踏まえながら構成を工夫して書いている。</p> <p>書② 相手や目的に応じて、事柄が正しくわかりやすく、気持ちが十分に伝わる書き方になるように推敲している</p>
			<p>表現ブラザ② 対話劇を体験しよう【話聞】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●対話劇とその振り返りの話し合いをとおして、話しことばの特徴やコミュニケーションについての考えを広げる。 	関心 話す 聞く 言語	話聞 対話劇とその振り返りの話し合いをとおして、話しことばの特徴やコミュニケーションについての考えを広げている。
			<p>漢字を身につけよう8【漢】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●漢字の読み書きについての理解を深める。 	関心 言語	言 新しく学習する漢字の読み書きについて理解を深めている。
	2	つ な が り を 考 え る	<p>ポテト・スープが大好きな猫【読(小説)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●場面の展開や登場人物の描写などに注意して、関係や心情を読み取る。 ●登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する。 	関心 読む 言語	<p>読① 場面の展開や登場人物の描写などに注意して、関係や心情を読み取っている。</p> <p>読② 登場人物の言動の意味を考え、内容を理解している</p>
			<p>ふるさつを見つめ直す 地域情報誌【話聞/書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●目的に応じて会議を開き、互いの発言を検討して考えを広げる。 ●地域の特色や課題について、取材や調査などで集めた情報を検討し、文章にまとめる。 	関心 話す 聞く 書く 言語	<p>話聞 目的に応じて会議を開き、互いの発言を検討して考えを広げている。</p> <p>書 地域の特色や課題について、取材や調査などで集めた情報を検討し、文章にまとめている。</p>
			<p>漢字を身につけよう9【漢】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●漢字の読み書きについての理解を深める。 	関心 言語	言 新しく学習する漢字の読み書きについて理解を深めている。
	3	つ な が り を 考 え る	<p>歌のことば あとひとつ</p>	関心	

上記の学習内容に加え、書写の学習が20時間程度あります。また副教材の活用、状況に応じた教材の追加、差し替えがある場合があります。

平成31年度 国語科 第3学年 学習指導・評価計画

1 国語科の学習指導のねらいおよび目標

これから社会に出て生きていく上で、コミュニケーション力が問われる機会が多くなります。そのためには自分の考えや思いを適切な表現で伝えたり、相手の考えや思いを正確に受け止め、理解したりすることが必要不可欠です。

また、言語能力を高めることで、想像力や表現力が豊かになり、今まで以上に読書を楽しんだり、自分の考え方を広げたりすることができるようになります。

国語の授業ではそういった伝え合う力や言語能力が身につくよう、5（評価について）の五つの観点を通して勉強します。

2 国語の学習で大切なこと

ただノートやワークを丸覚えしては、前に挙げた国語力は身につけません。授業以外でも積極的に音読をして語感を鍛えたり、記述問題は面倒くさがらずに一度書いてみたりしましょう。新出語句を意識的に書く文に取り入れてみるのも効果的です。考えることを放棄せず、一度自分の言葉でまとめてみると、それが的を射ていなかったとしても勉強になります。

3 思考力・判断力・表現力を高めるには

授業の中では、言葉を手がかりにして課題に対する自分の考えを深める時間をとります。その時間に自分の意見をじっくりと考え、自分の言葉で伝えるために表現の工夫を工夫する必要があります。とりあえず、諦めずに考えて書いてみましょう。授業内での発表で、他の生徒の言葉や先生の補足から言葉の使い方や表現力を高めることもできるはずで。

4 家庭学習の進め方

普段の生活から、言葉の使い方を意識してみることも必要です。また、授業で発表の活動がある時には、声の大きさや話す早さなども意識して練習しておくことが大切です。

作文など、書く課題が出た時には教科書や便覧の書き方を参考にしながら書いてみると苦手な人も取り組みやすいと思います。また、一度書いて終わりにするのではなく、何度も読み返して書き間違いがないか、もっと良い表現は無いか推敲していきましょう。国語辞書を効果的に使うとより良いです。

宿題はただこなすのではなく、学習目標を振り返って意識的に取り組むだけでも変わります。また、テストはただ結果を出すためだけにあるのではなく、今、自分がどれくらい理解できているかを確認するものです。問題を解いたら終わりではなく、一番大切なのはできなかったところを確認し、できるようにすることです。分からなかった所は友だちや先生に質問し、先延ばしにしないようにしましょう。

5 評価について

【関心】・授業中の意欲（発言・課題への取り組み）・提出物の状況

【話す聞く】・スピーチ等の発表や話し合い活動の技能・聞き取りの技能・定期考査

【書く】・学習プリント（書く課題）・作文・ノートの記述・定期考査

【読む】・学習プリント（読む課題）・ノートの記述・定期考査

【言語】・学習プリント（言語課題）・漢字テスト・定期考査・書写作品 など

【評価の観点およびその趣旨】

観 点	趣 旨
関心・意欲・態度	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語に対する認識を深め、国語を尊重しようとする。
話す・聞く能力	目的や場面に応じ、社会生活にかかわることなどについて相手や場に応じて話す能力、表現の工夫を評価して聞く能力、課題の解決に向けて話し合う能力を身に付けている。話したり聞いたりして考えを深めている。
書く能力	目的や意図に応じ、社会生活にかかわることなどについて、論理の展開を工夫して書く能力を身に付けている。文章を書いて考えを深めている。
読む能力	目的や意図に応じ、文章の展開や表現の仕方などを評価しながら読む能力を身に付けさせるとともに、読書を通して自己を向上させようとする。
言語についての知識・理解・技能	伝統的な言語文化に親しんだり、言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し使ったりするとともに、文字を正しく整えて書いている。

◇年間指導（学習）・評価計画

学期	月	領域 単元	学習内容 (目安時数)	評価の 観点	評価規準または 基準	評価の方法 評価材料
一学期 (4/6/7/20)	4	学びの扉を開く	・水のようなひと(2) ・間の文化(4)	読む・書く 読む	・表現の工夫に注意しながら読める。 ・論理の展開に注意して主張を読める。事例の提示の仕方を捉えたうえで自分の意見を考えられる。	・授業中の取り組み(音読・発言・発表活動など) ・授業中の課題への取り組み ・ノートの書き取り ・ワークやプリント類の取り組み状況、提出物
	5	かかわりを捉える	・握手(5) ・小論文(5)	読む 書く	・人物像を的確に捉えられる。	
	6	ことばを磨く	・俳句の世界/俳句十句(6)	読む・伝統 話す・聞く	・論理の展開や引用の仕方を工夫して書ける。 ・きまりや特徴を理解して内容を捉えられる。作品についての意見や感想、評価を活発に交流できる。	
	7		・ブックトーク(4) ・花や咲く咲く(2) ・文法(復習)(3) ・書写(5)	話す・聞く 読む 言語 言語	・場や相手に応じて話の内容を構成し、工夫できる。 ・目的に応じて読み、知識を広げたり自分の考えを深めたりすることができる。	
二学期 (7/21/12/25)	9	多角的に考える	・フロン規制の物語(5) ・企画会議(5)	読む 話す・聞く	・展開の仕方などについて意図や効果を捉えることができる。	・小テスト、定期テストの成績
	10	古典に学ぶ	・和歌の世界(4)	読む・伝統	・表現を工夫し、説得力のある発言ができる。話し合いを効果的に展開することができる。	
	11	情報を読み解く	・おくのほそ道(4) ・論語(2)	読む・伝統 読む・伝統	・詠まれた背景を想像しながら、情景や心情を読み取れる。形式や表現の特徴を捉えている。 ・作者のものの見方や考え方を捉えている。	
	12	読みを深め合う	・情報社会を生きる/新聞記事を読み比べよう(4) ・批評文(6) ・初恋(2) ・故郷(5) ・文法(復習)(3) ・書写(書き初め)(5) ・受験にむけて(2)	読む 書く 読む 読む 言語 言語	・漢文の響きやリズムに注意しながら読むことができる。 ・語句の効果的な使い方を捉えている。 ・自分の立場を明確にし、論理展開を工夫して書くことができる。 ・詩の形式を踏まえて朗読し、作者の思いを捉えている。 ・場面や登場人物の設定の仕方を捉えて読める。自分の考えをもつことができる。	
三学期 (12/26/3/19)	1	広がる世界へ	・「文殊の知恵」の時代(3)	読む	・筆者の主張を捉え、身近な例や報道の例に目を向けながら内容を理解できる。これからの社会について考えることができる。	
	2		・ワールド・カフェ(2)	話す・聞く	・分かりやすい表現を使ったり聞き手に問いかけたりしながら話すことができる。交流を通して深く考えられるような話し合いの場を作ることができる。	
	3		・坊っちゃん(3) ・中学校生活を振り返って(7) ・文法(2) ・受験に向けて(2) ・百人一首(3)	読む 話す・聞く・書く 伝統	・語句の使われ方に注意して読み、考えを深めることができる。 ・聞き取った内容からものの見方や考え方を深めることができる。目的や課題に応じて文章を集め、効果的で適切な構成を工夫することができる。	

授業進度や内容は状況によって変更する場合があります。